

2026年7月3日

軽消防自動車、高規格救急自動車を全国に12台寄贈

～地域防災力の強化、救急医療体制の整備に向けて1952年度から累計で5,238台寄贈～

一般社団法人 日本損害保険協会（会長：石川 耕治）は、地域の防火・防災力強化や救急医療体制の整備を目的として、軽消防自動車と高規格救急自動車を、全国にあわせて12台寄贈します。

寄贈先の詳細については、別紙をご参照ください。



市町村に寄贈する軽消防自動車
(デッキバンタイプ・6台)



離島に寄贈する軽消防自動車
(トラックタイプ・4台)



高規格救急自動車 (2台)

1. 寄贈の背景

- ・消防自動車や小型動力ポンプ等の消防資機材については、防災事業の一環として、1952年度から全国の市町村（離島除く）に、1982年度から離島に毎年寄贈しています。
- ・救急自動車については、自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）の運用益を活用した自動車事故における救急医療体制の整備の一環として1971年度から毎年寄贈しており、救急救命士制度が発足した1991年度からは、より高度な救急医療機器を装備した高規格救急自動車を寄贈しています。

2. 寄贈車両の仕様

- ・軽消防自動車は、軽四輪駆動車をベースとし、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応でき、迅速な初期消火・初期救命が可能です。市町村（離島を除く）にはデッキバンタイプを、離島にはトラックタイプを寄贈いたします。
- ・高規格救急自動車は、広い車内空間を備え、救急救命士が高度な救急救命処置を十分に行うことのできる設備を整えた救急自動車です。

3. 累計寄贈台数、活用状況

- ・今回の寄贈により、軽消防自動車含む消防資機材の累計寄贈台数は3,541台、救急自動車の累計寄贈台数は1,697台となり、あわせて5,238台を全国各地に寄贈しています。
- ・寄贈車両は各地域における実際の消火活動や救急救命活動のほか、平時から住民の防災意識向上のための消防訓練など、様々な用途で活用されています。
- ・なお、永年にわたる消防資機材の寄贈事業への取組みにより消防防災行政の進展に尽力をしたとして、2026年3月25日に大沢博消防庁長官から感謝状が授与されました。

■寄贈先

○軽消防自動車の寄贈先

<市町村（離島を除く）：6台>

<離島：4台>

都道府県	市町村
北海道	しほろちよう 士幌町
茨城県	いたこし 潮来市
栃木県	なすからすやまし 那須烏山市
滋賀県	あいしやうちよう 愛荘町
奈良県	かわかみむら 川上村
大分県	たけたし 竹田市

都道府県	市町村	離島
島根県	ちぶむら 知夫村	ちぶりしま 知夫里島
広島県	おおたけし 大竹市	あたたじま 阿多田島
熊本県	あまくさし 天草市	よこうらじま 横浦島
鹿児島県	さつませんだいし 薩摩川内市	かみこしきしま 上甕島

○高規格救急自動車の寄贈先

<消防本部：2台>

都道府県	消防本部
京都府	まいづるし 舞鶴市消防本部
福岡県	なかまし 中間市消防本部

■累計寄贈台数

○消防資機材（1952年度から全国の市町村（離島除く）、1982年度から離島）

市町村 （離島を除く）	消防自動車（注）	2,440台
	CAFSユニット積載軽車両	1台
	軽消防自動車	330台
	消防活動二輪車	1台
離島	軽消防自動車	242台
	非常用浄水発電照明装置積載兼用軽消防自動車	9台
	小型動力ポンプ	518台
合計		3,541台

(注) 標準車、水槽車、救工車、化学車、シュノーケル車などを含む。

○救急自動車（1971年度から）

高規格救急自動車	308台
その他救急自動車	1,389台
合計	1,697台

損保協会では、HP等で
様々な情報を発信しています。

公式ホームページ



X公式アカウント



YouTube
公式チャンネル

